

特集論文の公募のお知らせ

2027 年度日本選挙学会年報編集委員長

飯田 健

2025 年度日本選挙学会査読委員長

尾野嘉邦

○特集「新たなデータ・資料にもとづく選挙研究」

2027 年度年報編集委員会は、『選挙研究』43 巻 1 号（2027 年 6 月末刊行予定）の特集として「新たなデータ・資料にもとづく選挙研究」をテーマとすることを決定いたしました。この特集は、編集委員会からの依頼論文と、会員のみなさまの投稿論文から構成されます。

選挙研究において、方法論的革新と新たなデータ・資料の利用は重要な成果を導く際の大きな力となります。本特集では、このうち後者に焦点を当て、新たなデータや資料を用いた選挙研究論文を広く募集します。新たなデータ・資料には、広い意味で独自の方法で入手した定量的データや、これまであまり研究されてこなかった歴史的資料などが含まれます。新たなデータ・資料を用いることでどのように重要な成果を生み出すことができるのか、本号の特集が示すことで、選挙研究の可能性を再確認する機会となれば幸いです。会員のみなさまからの積極的な投稿をお待ちしております。

投稿締切日 2026 年 10 月 30 日（金）

投稿要領、執筆要領については以下のページをご参照ください。

<https://www.jaesnet.org/research/publications/index.html>

○参考：査読スケジュールについて

現在、日本選挙学会は『選挙研究』論文投稿システムを通じて、投稿を受け付けています。受付終了後、査読委員会で審議を行い、匿名査読者の選定ならびに査読依頼をしております。したがって、当該論文の完成度にもよりますが、投稿から最初の査読結果が戻るまでにおよそ 3 ヶ月を要します。修正・再査読となった場合、査読結果に応じて再投稿がなされてから、最終結果が出るまでに 2 ヶ月ほど要します。修正・再投稿にかかる時間によりますが、最初の投稿から最終結果の確定まで、6 ヶ月ほどの時間を見込んでください。

したがって、今回の特集に応募して締切日までに投稿すれば、2026 年 4 月までに査読のプロセスを終えて 43 巻 1 号に最終稿を入稿できることとなります。ただしこれは査読および再投稿が円滑に進んだ場合の想定ですので、必ずしも 43 巻 1 号への掲載が保証されるわけではないことをご理解ください。なお、査読を経て掲載が決定した論文につきましては、年報編集委員長名で掲載決定の証明書を発行することが可能です。

以上